



月刊

ポケットあわじ

発行日 2009年6月1日

ええところ おしえたあか



撮影・里口 寿信さん

海の宝石箱・・・海の星座・・・海の青色発光ダイオード・・・「キャ～、きれ～い」「おお～、すご～い」「こんなの見たことな～い」と歓声が上がりました。

“海ホタル”みなさんご存知ですか？「知ってる、知ってる。夜、海で砂投げたら青く光る生き物やろ？」と答えたのは私でした。それは夜光虫でプランクトンの一種です。山ホタルとは全く違う生き物で、甲殻類に属する発光性介形虫です。体長は3～3.5mm程でコバエによく似ていて、山ホタルのように自身が光るのではなく、外的な刺激や空気に触れることによりウミホタルルシフェリンという発光性物質が分泌され、光るのだそうです。

淡路の沿岸ではどこでも見られるそうですが、阿万海水浴場、伊弉海水浴場では海ホタル鑑賞ツアーを行っています。海ホタル鑑賞ツアーを案内している吹上浜キャンプ場管理人の阿部啓二郎さんと同副管理人の阿部光則さんに、海ホタルの採取から同行させていただき、いろいろと話を聞いてきました。

夜7時30分、阿万海水浴場の波止場で、海ホタルを採取するために魚のアラが入った瓶を海中に投げ入れます。

海ホタルは雑食性で何でも食べるそうです。

約10分後引き上げ、懐中電燈で照らしてみると水中になにやらミジンコのような小さな生物がウジャウジャ泳ぎ回っています。

8時頃、南あわじ市や洲本市の宿泊施設から海ホタル鑑賞ツアーの観光客が集まってきた、海ホタルショーが始まります。二人が海ホタルの入った海水をコンクリートの地面にまくと、サーと青い光が足元に広がり、青いダイヤモンドが散らばったようです。数秒で光が弱くなっていきますが、ほうきで掃くとまた光り出します。大人も子供も大喜びで、波模様やハート模様を描いていました。波模様はまるで天の川のようなようでした。

海ホタル鑑賞ツアーは4～6月の毎週金・日曜日は阿万海水浴場、土曜日は伊弉海水浴場で行っています。

この夏、海ホタルを見に行つてはいかがでしょうか。

応援隊：竹谷香代・坂本厚子



これが海ホタル！！？

今の特集 ええところ おしえたあか

- P.1 南あわじ市阿万海岸「海ホタル」
- P.2 南あわじ市三原川 「カメの日向ぼっこ」
淡路市山田小学校 「アオバズク」
淡路市下河合 「黒メダカ」
- P.3 淡路島のホタルおすすめスポット
三原中学校理科部

もくじ

- P.4 生活創造活動グループ「淡路島語りべ会」
生活創造活動グループ「ふうせん」
- P.5 玉ねぎ石鯛
いちごの歯磨き
野菜ソムリエ金山京子さんの「淡路の旬を食べよう」
- P.6 淡路文化会館・淡路生活科学センターからのお知らせ
- P.7～8 淡路の文化活動・イベント情報

南あわじ市 三原川

カメの日向ぼっこ

カメたちが長い首を伸ばしてのんびりと日向ぼっこする姿は究極の癒しですね。

南あわじ市円行寺の交差点で信号待ちをする時は、ぜひ三原川(上流側)の石ころの上をじっと見て下さい。天気の良い日には、カメがあっちこちの石の上にあがってきて長い首をのびし、日向ぼっこをしています。カメの親子もいますよ。



よく見るとスッポンもいるかも！！



～仲良くならんで日向ぼっこ～

川沿いを毎日散歩している友人によると、クサガメやイシガメにまじって、スッポンも鋭い目つきで日向ぼっこしているとか。

そしてカメは決してのろまじゃないです！人の気配に気付いたとたん、驚くほど素早く川にダイブします。「カメの日向ぼっこ」は遠くから見てこそ癒しかも…。

少し上流に上がった水の多い場所では、30～40cm級のコイの群れやウナギの稚魚・ナマズもいるそうです。これからの季節はシラスギ・アオサギ・ウなどが羽を休めている姿も見ることができます。

キラキラした三原川の清流(?)の周りに青々とした水草が茂る三原川沿いをゆっくり歩いてみてください。いろんな生き物に出会えますよ。 応援隊:川原雅代

淡路市 山田小学校

アオバズク

約30年ぐらい前から話題となっているのは、はるか東南アジア方面からやってくるアオバズクです。

山田小学校のシンボルツリーである「せんだんの木」にヒナをかえしにやって来ます。

小学校や地域では、5月の中旬になると「今年はいつ帰ってくるのだろうか」とアオバズクの里帰りを心待ちにする声で溢れます。

6月初めに卵を発見してから、夏休みに入って2、3日後に巣立つまでの間、山田地区では三世代交流事業の一つとして、「あおばずく観察教室」が開催され、子どもたちや地域の人達が、一緒に観察し、自然環境の保全と情操教育に役立っていると、「あおばずく交流広場」の摺元英二(するもとえいじ)さんに伺いました。

ヒナがウツカリ足を滑らせ下に落ちる時もあるそうです。落ちてしまったヒナは可哀想ですが、そのヒナを巣にかえしている時に一目でも見れるのは、すごく幸せかもしれませんね！



どなたでも観察できるそうですので、是非行ってみてください。私も、今年こそはアオバズクに出会いたいと思います。

応援隊:箆千恵子

淡路市 下河合

黒メダカ



みなさんは「めだかの学校」と書かれた看板を見たことありませんか？

今回そのめだかの学校について、下河合農地水保全協議会会長 河 清士さんにお話を聞いてきました。下河合町内会(旧一宮町)は、農地水環境保全事業の一環として生態系保全に関する啓発普及をしています。この活動は、絶滅の危機に立たされている『黒メダカ』が河合川の周辺で、「もう一度身近なメダカになってほしい」との思いで、町内会や老人会、消防団、青年会、子供会等、地域がひとつとなって行っています。

保護を目的とし捕獲した黒メダカを、毎年8月15日ごろにめだかの学校へ放流し、育て増やしています。

「8月15日」に放流するのは、夏休みの子どもたちや、お盆にふるさとへ帰省したお孫さんと地域の人達が、みんな一緒に参加できるようにという、配慮からだそうです。

河合川は、水もきれいなため、5月25日頃から6月初めにはホタルも見ることができます。

日頃よく通いなれている場所でも立ち止まるという事は少ないですが、今回地元の人の話を直接聞くことで、地域の思いを知ることができました。

応援隊:辻 恵子



今回紹介した場所は、応援隊や地域の声を元としています。淡路島には他にも色々な場所です。ほたるを目撃できるはず！自分だけの秘密の場所をさがしてみてもいかがですか☆

南あわじ市 三原中学校 理科部ホタル飼育室



南あわじ市三原中学校では、1965年頃からホタルの飼育をしています。今回、理科部顧問の池沢先生にお話を伺いました。

先生は4年前から顧問をしています。最初の

年は台風の影響でホタルが激減しメスが2匹しか採集できなかったそうです。

6月の上中旬にホタルを採集し、底に金網を張った木箱に湿らせたミズゴケを敷いて、水を入れたトレイの上に置きます。雄雌のペアを入れると、数日後には約500個の卵が生まれます。

産卵後、親ホタルは死んでしましますが、卵は20日ぐらいでふ化し、約1.2ミリの幼虫は金網から下のトレイに落ちる仕組みになっています。

トレイの水は25℃以下でないといけませんので、夏の間飼育室は冷房が効いていてホタルの幼虫が快適に過ごせる環境を作っています。

幼虫のエサはカワニナという巻貝の一種で、2、3日に一度成相川上流へとりに行くそうです。暑い時期のエサとりは本当に大変ですね。

そして夏中飼育した幼虫は9月下旬から10月上旬にかけて成相川と諭鶴羽ダム上流へ放流され、自然の中で冬を越し、春になると水から上がった幼虫は約一ヶ月間、土の中でサナギになり5月の末から6月の

はじめにかけて成虫のホタルとして飛び交い私達を楽しませてくれます。

幼虫やサナギの間も暗くなると光るそうです。一度見てみたいですね♪

諭鶴羽ダムの上流には兵庫県が整備したホタル水路があって、ホタルが成育しやすい環境を作っているのですが、「マムシ注意」の看板があるので…見に行く時は気をつけてくださいね。

先生のお勧めスポットは成相川上流の蛸橋を20メートルこえたところから山並みの方を見てくださいとのことですが、家も人通りもない山奥ですので行かれる方は明るいうちに下見に行ってください。

応援隊：坂本厚子・川原雅代



この飼育箱でホタルは卵から幼虫へ♪

- 生活創造活動グループ「淡路島語りべ会」
- 生活創造活動グループ「ふうせん」



講座
「野島断層保存館」にて

講座「パルシェ香りの館」にて

生活創造活動グループ

「淡路島語りべ会」

代表：岡本 年行 さん



平成19～20年度に、淡路文化会館では『国生みの島・淡路島』の語りべ達の学習講座を開講して、淡路島の魅力を発見・発信する学習を行いました。その受講生が学びと活動を続けようと、「淡路島語りべ会」を作りました。メンバーはどなたも淡路島が好きで、その魅力をたくさんの人に知ってほしいという想いがいっぱいです。

「これからは、講座では行かなかった施設・名所を訪れたり、淡路の魅力をまとめた豆辞典を自分たちの力で作ったりして、淡路島をもっともっと盛り上げる手助けができれば」と、会長の岡本さんは意気込みを語ってくれました。

淡路島で生まれ育った子どもたちに、淡路島が大好きになるようなお話をする機会もできたらいいな、とメンバーの夢がふくらんでいます。

取材：世古

生活創造活動グループ

絵本の読み聞かせと遊びのグループ



代表：丹野 ふくみ さん



話を聞く子どもたちの横顔も真剣！！



「読書は心の栄養」と言われていますので子ども達には、本と仲良しになって欲しいと願い、昭和60年に「親子絵本教室“ひよこ”」を開きました。毎週土曜日、親子で絵本の読み聞かせをしてきましたが、その子ども達が成長するにつれて、参加者も少なくなっていました。

その後、未来を担う、地域の子ども達に心豊かで思いやりのある子どもになってもらいたいと思い、「絵本の読み聞かせと遊びのグループ“ふうせん”」として再結成しました。

毎月岩屋の子育て学習センター、あっぷるくらぶ(学童保育)で、絵本の読み聞かせ、手遊びクイズなどしています。子ども達に優れた絵本を読んであげたいと思っています。

絵本の持つ魔法の力を信じ、活動を続けていきます。(丹野)

撮影：応援隊 西山満利子

続！ 私にいいとど 地球にいいとど 淡路島玉ねぎ石鹸

JAあわじ島と神戸大学農学部が共同開発したという、「淡路島玉ねぎ石鹸」をご存じですか？

玉ねぎの香りがする石鹸に最初は抵抗がありましたが、使ってみると、きめ細かいもっちりとした泡が立ち、使った後のツッパリ感もなく肌がしっとりしました。

玉ねぎの皮に含まれるケルセチンには、肌を紫外線

から守ったり、皮膚の炎症を抑えたり、バイ菌をよせつけない効果があります。

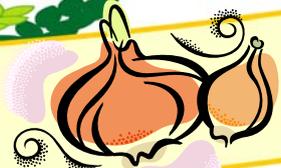
無香料・無着色にこだわり、界面活性剤をつかっていないので環境に優しい石鹸です。

みなさんも一度使ってみてはいかがでしょうか？

応援隊：川原雅代



野菜ソムリエ 金山京子さんの「淡路島の旬を食べよう」



今月のお野菜は「たまねぎ」

たまねぎの季節がやってきました！

血液さらさら効果でさらに人気のお野菜、たまねぎをご紹介します。

たまねぎの原産地は中央アジアから地中海沿岸に至るあたりで栽培の歴史は古く、古代エジプトやメソポタミア文明の昔から始まっていたと言われていいます。

たまねぎの語源はラテン語で真珠を意味する「UNIO」に由来します。たまねぎの薬効が広く認められていて、真珠のように神秘的なパワーを持つと信じられていた為だと言われていいます。

ところでたまねぎの刺激成分は硫化アリルなどのイオウ化合物ですが、硫化アリルは非常に揮発性の高い成分でたまねぎを切ったときに涙が出るのはこの成分が原因です。

たまねぎを生で食べる前に水にさらしていませんか？

たまねぎの刺激成分は揮発性のため空気にさらしてから冷蔵庫で冷やして食べましょう。

水にさらすと大切なビタミンが溶け出してしまうのでご注意ください。

広めのお皿にスライスしたたまねぎを30分ほど放置し一晩冷やすのがベストです。

たまねぎは野菜の中で最も糖質が多いお野菜です。特に水分がたっぷりの早生たまねぎは生で食べたいものです。ほんのりと果物の梨の味がしませんか？

さらしたたまねぎにかつおぶしをのせておしょうゆ、ポン酢またはお好みのドレッシングでいただくともう最高！（生食が苦手な方はお酢などの酸味を加えると食べやすくなります。）

淡路島の大地の味がするたまねぎを存分に味わいましょう！

次回も引き続きたまねぎをご紹介します。



続！ 「淡路島の旬を食べよう」 「いちごの歯磨き」

ポケットあわじ83号の中で、「ヨーロッパでは歯ブラシに“いちご”をのせて歯を磨くと、歯の汚れ、黄ばみ、歯槽膿漏の予防になるとされている。」と紹介したのを覚えていますか？早速試してみました。

口の中は甘酸っぱくて爽やかなのですが、小さな種が歯の間と歯ブラシにはさまって、掃除に時間がかかってしまいました。

でも楽しい経験でした。ぜひお試しください。

金山京子



兵庫県知事選挙

投票日 **7** 月 **5** 日 (**日**)

【期日前投票のできる期間】6月19日(金)～7月4日(土)

放送大学 平成21年度第2学期生募集



放送大学はテレビ等の放送を利用した通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で、さまざまな年代や職業の人が学んでいます。大学や大学院の授業科目を1科目から気軽に学べるチャンスです。この機会にあなたも放送大学で学んでみませんか？！

【出願期間】平成21年6月15日～8月31日(必着) ※資料を無料進呈 ※インターネット出願は6月1日より受付開始

【問合せ先】〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 放送大学兵庫学習センター Tel. 078-805-0052

〒670-0012 姫路市本町68-290 放送大学姫路サテライトスペース Tel. 079-284-5788

【放送大学ホームページアドレス】 <http://www.u-air.ac.jp>

淡路文化会館には放送大学センター外視聴施設「淡路教室」があります。放送大学生以外の方も、室内視聴に限ってご利用いただけます。

「淡路ふるさと芸術文化振興事業」企画・実施希望団体の募集

【対象事業】平成21年度に実施される淡路地域の特色ある芸術文化活動〔市域を超えた広域的事業を対象とします〕(音楽祭、演劇祭、伝統技能等の舞台芸術発表、美術鑑賞、作品批評など)

【補助額】20万円を限度とします。(但し、事業規模、内容により予算の範囲内で補助金額を決定します。)

【申請期間】平成21年6月1日(月)～19日(金)

【申請方法】①事業計画書(様式1)、②事業計画書(別紙1)を作成の上、下記の間合せ先のいずれかに提出

【問合せ先】●洲本市文化協会(会長 武田信一) Tel. 24-1512 ●南あわじ市文化団体連絡協議会(副会長 徳田壽春) Tel. 52-1286

●淡路市文化協会(会長 畑美代子) Tel. 72-2534 ●淡路文化協会(副会長 湊 格) Tel. 22-0032



6月は環境月間です

6月5日は国連で「世界環境デー」、日本で「環境の日」と定めています。そして、6月の1ヶ月間は「環境月間」です。この機会に、普段の生活を見つめなおし、環境にやさしいライフスタイルについて考えてみませんか。

さまざまな商品に付いている環境関連マーク。あなたはいくつわかりますか？
マークの意味を知って、生活の商品選びやリサイクルに役立ててください。

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩



①ライフサイクル全体を考えた環境保全に役立つ商品につけられます。②③④資源の分別回収を促進するためのマーク ⑤⑥業界団体等が製品の素材や回収ルートがあることを示すマーク。(⑤はアルミなし紙パック、⑥は段ボール) ⑦間伐材を用いた商品につけられます。⑧古紙パルプ配合率を示すマーク。数字が配合率。⑨原料に古紙を規定の割合以上利用していることを示しています。⑩製品(テレビ、エアコン、冷蔵庫)の省エネ性能を☆の数でわかりやすく表示。

【時】開催日等 【所】場所 【料】料金 【問】問い合わせ先

◆平成21年度地域活性化助成金交付事業◆

新しい淡路島づくりに向けての文化、スポーツ等のイベント事業を実施しようとする団体に対して助成を行います。
【助成対象事業】 淡路島内において淡路島づくりのために、地域の活性化や地域開発の促進を目的に、広域的な事業活動を推進する団体が、平成21年8月1日から平成22年3月31日の間に実施する事業。
【応募方法】 希望者は、助成金交付申請書等に記入の上、募集期間内に(財)淡路島くこうみ協会まで持参。
 (1)募集期間:6月1日(月)～6月30日(火)※必着 (2)受付時間:平日9時～17時※事前連絡必要
 (3)様式等:淡路島くこうみ協会ホームページからダウンロードしてください(<http://www.kuniumi.or.jp/>)。
【選定】 申請書を元に審査し、募集終了後1ヶ月以内に決定
【助成金額】 1事業あたり10万円以内。 **【問】** (財)淡路島くこうみ協会企画課 TEL 24-2001 Fax 25-2521

■淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」■ TEL 74-1200 FAX 74-1201 〒656-2304 淡路市夢舞台4

【料】 大人600円 65才以上300円 高校生360円 中学生300円 小学生180円

○ホワイトガーデンショー—The Luxury White Garden—【時】6月6日(土)～7月12日(日)

展示室5 フラワーショースペース ホワイトガーデンショー(6月6日(土)～7月12日(日))

展示室3 花と緑のある暮らし 和の水の庭「江戸のハナショウブと和の演出」(～7月19日(日))

展示室2 トロピカルガーデン 食虫植物展(6月13日(土)～7月19日(日))

○バリフラワーショー—神々が宿る国—【時】7月18日(土)～9月6日(日)

○香り・色・花文化—バリと日本のエスノボタニー—【時】7月20日(祝)受付開始12:00 講義開始13:00

【内容】 「バリの庭、植物の癒し効果」についてのお話と館内見学、トピカルリングコンテナガーデン教室を開催します。

【料】 10,000円(入館料・材料費込) 【講師】 辻本智子(奇跡の星の植物館プロフェッサー)

■国営明石海峡公園■ 管理センター TEL 72-2000 〒656-2307 淡路市南鶴崎8-10

【入園料】 大人400円 小人(小・中学生)80円 駐車料金:普通車500円

○フェリッパの球根掘り取り体験【時】6月6日(土)、7日(日)13:00～15:00 【料】 参加無料※球根がなくなり次第終了します。

○季節のカタあそび～押し花のポストカードを作ろう～【時】6月13日(土)、14日(日)10:30～17:00 【料】 200円から

○季節のカタあそび～ハンダースティックを作ろう～【時】6月27日(土)、28日(日)、7月4日(土)、5日(日)10:30～17:00 【料】 200円

○夏休み生き物イベント「世界のカブトムシ・クワガタムシ大集合」【時】7月18日(土)～8月31日(月)10:00～17:00

【料】 入場無料(実施イベントにより有料のものがあります) ※上記4つの催しは、入園料・駐車料金が別途必要です。

■淡路島公園■ 【問】 淡路島公園管理事務所 TEL 72-5377 〒656-2301 淡路市楠本2425-3

○七夕まつり【時】7月1日(水)～7日(火)【所】 ハイウェイオアシス館 【料】 無料

※来館の皆様にかいていただく短冊は、7日の夜に天の川に願いをかけたあと、伊弉諾神宮に神納し、お焚き上げしていただきます。

★しづかホール★ TEL 62-2001 〒656-2132 淡路市志筑新島5-4

○映画ポケットモンスター「アルセウス超克の時空へ」【時】7月20日(祝)①10:30～②12:40～③14:50～

【料】 前売り:一般1,300円/小人800円 当日:一般1,800円/小人1,000円 【問】 しづかホール

○第31回淡路吹奏楽祭兼兵庫県吹奏楽コンクール淡路地区大会【時】7月26日(日)10:30～ 【料】 無料

【問】 淡路吹奏楽連盟(代表 山田)45-0039

★洲本市文化体育館★ TEL 25-3321

○第17回爽美会日本画展

【時】6月13日(土)～15日(月)10:00～17:00(最終日～16:00)

【所】会議室1A-2・3【料】無料

【問】爽美会 担当:富山 TEL 62-0088

○芝小百合バレエ教室発表会

【時】6月14日(日)14:00～【所】文化ホール『しばえもん座』

【料】無料【問】芝小百合バレエ教室 TEL 42-1108

○洲本ライオンズクラブ献血運動

【時】6月17日(水)10:00～15:30

【所】西駐車場※協力者に記念品贈呈

【問】洲本市健康福祉部健康増進課 TEL 22-3337

○淡路ハンドメイドクラブ作品展

【時】6月20日(土)～21日(日)10:00～17:00(初日11:00～)

【所】会議室1A-3【料】無料

【問】淡路ハンドメイドクラブ 担当:小原 TEL 26-1818

○綾小路きみまろ爆笑スーパーライブ

【時】7月20日(祝)14:00～15:00【所】大ホール

【料】S席5,500円 A席5,000円(全席指定)

【問】(有)アクティブ TEL 088-611-3111

○スマイルばくてんクラブ 第4回 フットリッパ in 淡路島

【時】7月25日(土)14:00～17:00(合同練習会17:00～18:00)

【所】メインアリーナ『しおさい館』【料】参加費2,500円

【問】スマイルばくてんクラブ 担当:菅本 TEL 090-3895-0863

◆平成21年度 淡路島くとうみ講座（第1回）◆

【時】7月4日(土)14:00～15:30(受付13:30～) 【所】洲本市文化体育館 文化ホール
浪速のカリスマ添乗員(株)日本旅行 平田進也氏による講演「観せる淡路島～ほんまものサービスはこれや!～」
【料】受講料無料【定員】300名(先着順)【募集期限】6月30日(火)

◆平成21年度「あわじ花と緑のコンクール」作品募集◆

【応募期間】5月20日(水)～9月15日(火) 【応募対象】淡路島内で四季を通じて花と緑を大切に育てている個人、家族、グループ、団体。
【応募方法】各市役所・県民局にある応募用紙に、必要事項を記入し、緑花場所のカラー写真2枚を添えて申し込んでください。

【問・申込・応募先】〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1 洲本ポータルビル3階 (財)淡路島くとうみ協会企画課
TEL 24-2001 Fax 25-2521 E-mail:awajishima@kumiumi.or.jp

■講座情報■ 洲本市立淡路文化史料館 洲本市山手1-1-27 TEL 24-3331 FAX 24-3341

○歴史講座①淡路島の古代【時】6月27日(土)10:00～○歴史講座②淡路島の中世【時】7月25日(土)10:00～
【講師】淡路文化史料館職員【所】1階研修室【料】受講料400円+資料代【申込締切】開講日の2日前

ギャラリーインフォメーション

淡路文化会館 TEL 85-1391 【料】無料
(展)…展示室 (ギ)…県民ギャラリー (資)…資料室
写淡四季2009年度写真展(展) (6/ 9～ 6/25)
柿洪型染め展(ギ) (6/10～ 6/30)
津名フォトクラブ写真展(展) (6/28～ 7/11)
淡路先人の文筆墨跡展(ギ) (7/ 2～ 7/23)
戸塚刺しゅうミニ展(展) (7/13～ 7/23)
第9回アキスによる「島の彫刻空間構想展」(展) (7/25～ 8/ 8)
淡路の伝統芸能と文化のパネル展 (7/25～ 8/ 3)

洲本市民交流センターアールギャラリー TEL 24-4450 【料】無料
久留米敏仁写真展(淡路島の風景) (6/ 3～ 6/30)

洲本市民工房 TEL 22-3322
清水流絵手紙展 (6/19～ 6/20)

玉青館 TEL 36-2314 休館日:毎週月曜(月曜が祝日の場合はその翌日)
【料】大人300円、高・大 200円、小・中 100円
※小中生は「ココカード」「のびのびサポート」利用可
平成21年度 館蔵品展 I (6/19～ 8/23)

淡路人形浄瑠璃資料館 TEL 43-5037 【料】無料
淡路雅交会「土文芸雑俳展」 (7月31日まで)
野水正朔「懐かしの淡路人形写真展」 (7月31日まで)
淡路人形浄瑠璃名場面「玉藻前旭袂」 (8月下旬まで)

編集だより

家の近所を草刈して小さな亀を見つけ水槽にいれました。
ポケットあわじで特集したい事項に'長寿番付特集'などと夢を
語りましたが、鶴は千年、亀は万年にあやかり、淡路島の長寿さ
んに会える日を楽しみにしています。 応援隊 田村ひろ子

4月から生活創造応援隊員になり早速「めだかの学校」の取材
に行ってきました。地域全体での活動を通じて子供達がたくさん
自然と触れ合えるのは素晴らしいと思いました。
上手くお伝え出来るように頑張ります。 応援隊 辻 恵子

今年度から生活創造応援隊のメンバーの一員となりましたが、
他の応援隊の皆様のパワフルな姿に感動です。
足手まといにならないよう頑張りたいと思いますので、よろしく
お願いいたします。 応援隊 箆千恵子

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊
の手により、島内の約240カ所に配布しています。
ウェブでご覧になるとカラー版でお楽しみいただけま
す。読者の皆さまからのお便り、まちの情報をお待
ちしています。下記までお気軽にどうぞ!



キャラクターの
ポケたんだよ!

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路県民局 淡路文化会館・淡路生活科学センター
〒656-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-85-1391
FAX 0799-85-0400
E-mail: bunka-85awaji@maia.eonet.ne.jp

「ポケットあわじは」どこで手に入るの?・・・淡路島内各市の庁舎・公民館、ホール、商業施設などで無料配布して
おります。また、淡路文化会館のホームページ・下記URLでもご覧になれます。

<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>